

No.	補助金名 （交付金名） 【部局名】	補助 区分	基本 構想	総合 戦略	開始 年度	事業目的等	年度	補助金	補助割合	補助金 依存率	自主財源 比率	管理的経 費比率	最終 見直し 年度	見直し等経過	補助 割合 1 / 2 超	5 年以上 見直し なし	成果指標（K P I）				所管部局評価	今後の方向性	評価項目 上段：部局評価 下段：委員評価														
								R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 〔千円〕	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 〔%〕	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 〔%〕	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 〔%〕	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 〔%〕					アウトプット指標 （活動量）	アウトカム指標 （成果・効果）		終期目標 〔終期年〕 〔直近進捗率〕 上段：アウトプット 下段：アウトカム			基本的視点						財政的視点								
																		指標名	数 値				指標名	数 値	公 益 性	必 要 性	自 主 性	有 効 性	積 算 内 訳	使 途	積 算 基 準	補 助 割 合	繰 越 金	自主 財源 確保	経常 経費 削減		
																			R8目標 R7実績 〔R7達成率〕 R6実績 R5実績					R8目標 R7実績 〔R7達成率〕 R6実績 R5実績													
1	街路灯電灯 料補助金 【市民部】	要綱等	○	○	S38	夜間の交通安全、犯罪の 防止および美観の保持 を図るため、街路灯 維持団体にに対し、電灯 料補助金を交付し、街 路灯の民間設置を促進 する	R8予 R7決 R6決 R5決	61,533 63,764 64,344 56,454	80.0 80.0 80.0 80.0	80.0 80.0 80.0 80.0	20.0 20.0 20.0 20.0	0.0 0.0 0.0 0.0	H17	補助率引き上 げ 7.5/10→8/10	●	●	補助街路灯 維持団体数	R8：246団体 R7：246団体 〔達成率99%〕 R6：248団体 R5：250団体	街路灯維持 団体保有街 路灯灯数	R8：20,020灯 R7：19,990灯 〔達成率99.6%〕 R6：19,966灯 R5：19,990灯	アウトプット 242団体 〔R7:101.7%〕 アウトカム 20,073灯 〔R7:99.6%〕	A	民間による街路灯設置 数が維持されることに より、夜間交通の安全 性の向上が図られるほ か、犯罪防止効果が働 くとともに通行者に安 全・安心感を与えるこ と、また、市街地の美 観を保持することに寄 与している	A	街路灯の維持は、主に 夜間の交通安全や犯罪 の起こりにくい街づく りに寄与する非常に公 益性の高い事業であ り、特定の者への利益 供与ではなく、幅広く 市民生活の安全性向上 が図られるため	A	A	A	B	A	A	A	B	-	B	-	
2	街路灯設置 費等補助金 【市民部】	要綱等	○	○	S37	夜間の交通安全、犯罪の 防止および美観の保持 を図るため、街路灯 維持団体にに対し、設置 費等補助金を交付し、 街路灯の民間設置を促 進する	R8予 R7決 R6決 R5決	30,416 21,062 17,676 18,531	83.2 70.7 71.2 63.6	83.2 70.7 71.2 63.6	16.8 29.3 28.8 36.4	0.0 0.0 0.0 0.0	R6	一部限度額の 見直し、安定 器への助成を 廃止	●	●	補助灯数	R8：756灯 R7：490灯 〔達成率95%〕 R6：414灯 R5：542灯	街路灯維持 団体保有街 路灯灯数	R8：20,020灯 R7：19,990灯 〔達成率99.6%〕 R6：19,966灯 R5：19,990灯	アウトプット 1,356灯 〔R7:36.1%〕 アウトカム 20,073灯 〔R9〕 〔R7:99.6%〕	A	街路灯の民間設置数が 増加することにより、 夜間交通の安全性の向 上が図られるほか、犯 罪防止効果が働くこと もに通行者に安全・安 心感を与えること、ま た、市街地の美観を保 持することに寄与して いる	A	LED灯の普及率を高 めることで、電料料縮 減や灯具長寿命化につ ながり、市ならびに管 理団体の負担軽減に大 きな効果が期待される	A	A	A	B	A	A	A	B	-	B	-	
3	在宅福祉ふ れあい事業 費補助金 【保健福祉部】	要綱等	○	○	H3	民生委員、町会関係 者、ボランティア等に よる在宅福祉委員会を 組織し、高齢者等が住 み慣れた地域で、健康 で生きがいを持ち安心 して暮らせる地域社会 の実現を図る	R8予 R7決 R6決 R5決	43,640 38,914 38,985 38,862	92.5 92.6 92.6 92.6	92.5 92.6 92.6 92.6	7.5 7.4 7.4 7.4	27.4 27.6 27.9 27.8	R8	H27：市社協 に対する補助 金・委託料の 見直し（人件 費積算） R8：人件費積 算単価の見 直し@360万円→ @400万円	●	●	在宅福祉委 員会数	R8：115委員会 R7：114委員会 〔達成率95%〕 ふれあい （訪問） サービス対 象世帯数 R6：117委員会 R5：119委員会	R8：4,900世帯 R7：4,530世帯 〔達成率90%〕 R6：4,780世帯 R5：4,903世帯	アウトプット 115委員会 〔R9〕 〔R7:99%〕 アウトカム 4,900世帯 〔R9〕 〔R7:92%〕	A	担い手不足等で委員会は 減少傾向にあるが、市内 175町会中114地区を網羅 し、1,436名（R8.6現在） の委員により活動してい る。研修による担い手育 成や未設置地域のサロン 連携、包括等との協力の により、公的福祉手前の草 の根セーフティネットと して機能しており、住民 協働による地域福祉推進 に十分な効果を上げてい る。	A	地域福祉の増進および地 域共生社会の実現を図 るためには、多数の住民 ボランティアによる高齢 者等への声掛けや相談 支援、生活援助等による 支援が地域密着で継続さ れることが効果的である ことから、当該事業を現 行のまま継続していくこ ととする。なお、令和8年 度に市社協に対する補助 金見直しとあわせて人件 費積算単価を見直し済 である。	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	B	A	
4	一般財団法人 函館市学 校給食会運 営補助金 【教育委員会】	団体運営	○	○	S58	各学校における給食事 務の軽減、良費で安価 な物資の調達および学 校給食の同一水準での 実施に寄することで、 学校給食の充実を図る	R8予 R7決 R6決 R5決	20,071 17,494 16,514 17,580	98.1 98.0 97.3 97.9	98.1 98.0 97.3 97.9	1.9 2.0 2.7 2.1	100.0 100.0 100.0 100.0	H27	職員の雇用形 態見直し（正職 →臨時ほか）に よる補助金額 の減	●	●	学校給食実 施回数	R8：186回 R7：186回 〔達成率100%〕 R6：186回 R5：186回	学校給食安 定実施率	R8：100% R7：100% 〔達成率100%〕 R6：100% R5：100%	アウトプット 186回〔R9〕 〔R7:100%〕 アウトカム 100%〔R9〕 〔R7:100%〕	A	既定の給食回数に対す る副食食材の調達は安 定的かつ確実に行っ たほか、継続的に新規 食材を増やす取り組み を実施し、安全・安心 な学校給食の提供に貢 献している	A	当該団体は、学校給食 物資を安定供給するこ う本市の学校教育上 重要な役割を担ってい ることから、今後も補 助を継続する	A	A	A	-	A	A	A	A	B	A	-	B
5	通学バス等 運行経費補 助金 【教育委員会】	要綱等	○	○	H11	児童生徒の通学時の安 全確保および保護者の 負担を軽減し、充実し た学校生活を送らせる ため	R8予 R7決 R6決 R5決	10,873 7,791 7,161 4,270	85.8 75.6 69.5 51.8	85.8 75.6 69.5 51.8	14.2 24.4 30.5 48.2	0.0 0.0 0.0 0.0	R5	H28便数見直し 補助率見直し ・～R3：1/3 ・R4：1/2 ・R5～： 運行経費 から保護 者負担金 を控除し た額	●	●	計画運行実 績率	R8：100% R7：100% 〔達成率100%〕 R6：100% R5：100%	安全運行達 成率	R8：100% R7：100% 〔達成率100%〕 R6：100% R5：100%	アウトプット 100%〔R10〕 〔R7:100%〕 アウトカム 100%〔R10〕 〔R7:100%〕	A	児童生徒の安全確保お よび保護者の負担軽減 が図られている。また 、直営や委託により 市がスクールバスを運 行した場合には、運行 経費やバスにかかる費 用が全額公費負担とな り、大幅な財政負担増 が見込まれる	A	陣川あさひ町会が運行 する通学バス（Jバス） について、児童生徒の 安全確保および保護者 の負担軽減を果たして いる役割は重要であ り、引き続き運行経費 の縮減策や自主財源の 増加策等について協議 検討しながら、現行補 助制度による支援を継 続する	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	B	-

No.	補助金名 (交付金名) 【部局名】	補助 区分	基本 構想	総合 戦略	開始 年度	事業目的等	年度	補助金	補助割合	補助金	自主財源	管理的経	最終 見直し 年度	見直し等経過	補助 割合 1 / 2 超	5 年以上 見直し なし	成果指標（K P I）				所管部局評価	今後の方向性	評 価 項 目														
								R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【千円】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】					アウトプット指標 (活動量)		アウトカム指標 (成果・効果)				終期目標 【終期年】 (直近進捗率) 上段：アウトプット 下段：アウトカム	基本的視点		財政的視点											
																	指標名	数 値	指標名	数 値				公 益 性	必 要 性	有 主 性	効 率 性	積 算 内 訳	使 途	積 算 基 準	補 助 合 計	繰 越 金	自主 財源 確保	経 常 経 費 節 減			
6	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金 【子ども未来部】	要綱等			H23	シェルターへの入所からステップハウスへの入所、被害者の自立支援までの総合的な支援を目指す	R8予 R7決 R6決 R5決	2,000 2,000 2,000 2,000	61.2 67.2 67.3 67.4	61.2 67.2 67.3 67.4	38.8 32.8 32.7 32.6	0.0 0.0 0.0 0.0	-	-	●	●	D V被害者を保護した件数	R8：50件 R7：54件 【達成率108%】 R6：49件 R5：48件	自立に至ったD V被害者数	R8：15人 R7：18人 【達成率150%】 R6：11人 R5：14人	アウトプット 50件【R10】 (R7:108%) アウトカム 15人【R10】 (R7:120%)	B	シェルターへの入所等によるD V被害者の保護および自立支援に寄与している	A	N P O法人は安定した財源の確保が難しいことから、当面は団体の自主財源の確保に向けた取組を促しつつ、事業の実施状況や収支状況を確認しながら、補助水準の妥当性を継続的に検討する	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	B	-
7	アフタースクール運営交付金 【教育委員会】	要綱等	○		H27	家庭での学習習慣の定着および児童の主体的な学習態度の形成を図るため	R8予 R7決 R6決 R5決	1,100 1,000 900 1,000	100.0 98.4 97.5 97.1	100.0 98.4 97.5 97.1	0.0 1.6 2.5 2.9	0.0 0.0 0.0 0.0	-	-	●	●	実施基準に対する実施回数	R8：176回 R7：170回 【達成率118%】 R6：177回 R5：214回	実施校における延べ参加人数	R8：4,416人 R7：3,543人 【達成率80%】 R6：4,612人 R5：4,220人	アウトプット 176回【R10】 (R7:97%) アウトカム 4,416人【R10】 (R7:80%)	B	コロナ禍の影響や指導者不足で実施団体が減少しているが、実施校からは継続的な取り組みの結果、児童の学力向上が図られているとの声が上がっている	B	事業開始当初からの児童を取り巻く学習環境の変化等を踏まえ、廃止を含め事業の抜本的な見直しを検討する		A	A	-	A	A	A	A	B	A	-	A
8	商店街等イベント開催補助金 【経済部】	要綱等	○		R2	商店街等が実施する集客イベントや販売促進活動を支援することにより、賑わい創出を図るとともに、商店街等の魅力発信と活性化を促進する	R8予 R7決 R6決 R5決	7,500 5,208 5,549 5,818	66.7 53.5 53.9 53.0	66.7 40.4 44.7 43.3	33.3 59.6 55.3 56.7	0.0 0.0 0.0 0.0	-	-	●	●	イベント開催件数	R8：12件 R7：9件 【達成率75%】 R6：10件 R5：10件	イベント時の来街者数	R8：43,400人 R7：41,800人 【達成率-%】 R6：45,500人 R5：42,900人	アウトプット 12件【R11】 (R7:75%) アウトカム 43,400人【R11】 (R7:96%)	B	イベント開催時に一定数の来街者があり、来街機会の創出という直接的な成果が認められることから、地域の賑わい創出や商店街等の魅力発信・活性化に寄与している	A	商店街等を取り巻く経営環境は依然として厳しいものの、来街機会の創出や地域の賑わい創出、商店街等の魅力発信に一定の効果認められ、また、現時点で代替となる支援制度もないことから、当面は現行水準で継続	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	-	
9	空家等改修支援補助金 【都市建設部】	要綱等	○	○	R3	長期間利用実績のない空家住宅を移住者が購入し、その改修に要する費用の一部を補助することにより、空家の解消および市外からの移住を促進し地域住民の生活環境の保全を図る	R8予 R7決 R6決 R5決	4,000 4,000 4,000 0	60.0 27.9 25.5 0.0	60.0 27.9 25.5 0.0	40.0 72.1 74.5 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0	-	-	●	●	空家等改修支援補助金交付件数	R8：2件 R7：2件 【達成率100%】 R6：2件 R5：0件	空家等改修支援補助による移住者数	R8：2人 R7：2人 【達成率100%】 R6：4人 R5：0人	アウトプット 2件【R11】 (R7:100%) アウトカム 2人【R11】 (R7:100%)	B	申請者全員が市外からの移住者であり、定住後の市内勤務・市内消費が確認できている。目標（R5～R7実績の平均値）達成に向けては、他の空家対策・移住支援との連携強化が必要。	A	R3から西部・中央部地区を対象に実施し、制度について周知されてきたところであり、相談件数も増加傾向にあることから現行のまま継続する	A	A	A	A	A	A	A	B	-	-	-	
10	養育費に関する公正証書等作成支援補助金 【子ども未来部】	要綱等			R4	ひとり親の養育費に関する債務名義の取得を促進することにより、養育費の取り決め内容の継続した履行の確保と経済的自立への支援に資する	R8予 R7決 R6決 R5決	684 749 540 681	100.0 100.0 100.0 100.0	100.0 100.0 100.0 100.0	0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0	-	-	●	●	養育費に関する公正証書等作成支援補助金申請件数	R8：38件 R7：39件 【達成率103%】 R6：36件 R5：36件	債務名義取得につながった件数	R8：38件 R7：39件 【達成率103%】 R6：36件 R5：36件	アウトプット 38件【R10】 (R7:103%) アウトカム 38件【R10】 (R7:103%)	B	本補助金によりひとり親の養育費に関する債務名義取得を促進することで、ひとり親の経済的自立に寄与している	B	今後の公正証書作成費用の推移を踏まえ、上限額（現行3万円）の見直しを検討する		A	A	-	A	-	A	A	B	-	-	-

No.	補助金名 (交付金名) 【部局名】	補助 区分	基本 構 想	総 合 戦 略	開 始 年 度	事業目的等	年度	補助金	補助割合	補助金 依存率	自主財源 比率	管理的経 費比率	最終 見直し 年度	見直し等経過	補助 割合 1 / 2 超	5 年以上 見直し なし	成果指標（K P I）			所管部局評価	今後の方向性	評 価 項 目 上段：部局評価 下段：委員評価															
								R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【千円】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】	R8予算 R7実績 R6実績 R5実績 【%】					アウトプット指標 (活動量)		アウトカム指標 (成果・効果)			終期目標 【終期年】 (直近進捗率) 上段：アウトプット 下段：アウトカム	基本的視点		財政的視点												
																	指標名	数 値 R8目標 R7実績 【R7達成率】 R6実績 R5実績	指標名				数 値 R8目標 R7実績 【R7達成率】 R6実績 R5実績	公 益 性	必 要 性	自 主 性	有 効 性	積 算 内 訳	使 途	積 算 基 準	補 助 割 合	繰 越 金	自主 財源 確保	経常 経費 節減			
11	函館消費者 協会補助金 【市民部】	団体 運営	○		S43	消費生活の改善、合理化、各種調査、普及啓発等の事業を実施しており、消費者意識の高揚などに寄与しているため、同協会の円滑な運営に資する	R8予 R7決 R6決 R5決	670 670 670 670	58.5 60.5 63.1 60.2	55.7 57.6 59.2 56.2	39.5 38.0 35.8 38.5	61.5 63.5 61.1 62.1	H26	補助金の減額 H25:720 →H26～:670	●	●	函館消費者 大学の講座 数	R8：10回 R7：10回 【達成率～%】 R6：10回 R5：10回	函館消費者 大学の学生 数	R8：70人 R7：64人 【達成率～%】 R6：66人 R5：59人	アウトプット 10回【R10】 (R7:100%) アウトカム 80人【R10】 (R7:80%)	B	事業効果を数値で測ることは難しいが、消費者大学の開催や広報、啓発等の有意義な事業を展開している	A	複雑・多様化している消費者問題に対応するため、同協会が果たす役割はますます大きくなると考えられることから、今後においても継続して補助する	A	A	B	A	A	A	A	B	B	B	B	
12	函館市連合 遺族会補助 金 【保健福祉部】	団体 運営	○		S27	戦没者英霊の顕彰、戦没者遺族の福祉の増進、戦没者遺族援護事業（処遇改善運動）の推進に寄与する	R8予 R7決 R6決 R5決	575 575 575 575	63.7 62.2 65.5 58.4	63.7 62.2 65.5 58.4	19.7 19.2 17.4 26.4	11.7 11.5 8.8 11.8	H27	補助金の減額 H25:605 →H26:599 →H27～:575	●	●	連合遺族会 の加入者数	R8：73人 R7：70人 【達成率96%】 R6：81人 R5：96人	連合遺族会 加入者の大 会参加延べ 人数	R8：150人 R7：142人 【達成率95%】 R6：138人 R5：154人	アウトプット 73人【R10】 (R7:96%) アウトカム 150人【R10】 (R7:95%)	A	追悼式等各行事に積極的に参加しており、会員相互の状況把握や会員間の連携が図られるなど、福祉の向上に寄与している	A	戦没者慰霊、平和祈念の貴重な機会となっているほか、戦没者遺族の福祉の増進が図られる。	A	A	B	A	A	A	A	B	A	B	B	B